

各地域自治区協議会等への説明会報告									
	地域名	会議名	日時			場所	参加者数	主な意見	
1	大井振興室	大井町区長会	7月9日	火曜日	19:00	北庁舎会議室	15	・最終ページの国保上矢作病院の病床数の適正化とあるが適正化とは →東濃地域の地域医療構想等調整会議を踏まえた病床数を検討する ・民間の医療機関もこのビジョンの対象になるか →このビジョンは公立医療機関を対象に検討している。委員の中には医師会の先生も委員で意見を頂いている。	
2	長島振興室	長島地域自治区運営会議	5月20日	月曜日	19:00	北庁舎会議室	25	意見無し。	
3	東野振興事務所	第3回東野地域自治区運営協議会役員会	6月17日	月曜日	18:45	東野コミュニティセンター2階第2会議室	15	・ネットワーク運営の参考にした先進地はあるのか →県北西部地域医療センター ・今まで通りの体制は維持できるのか ・統廃合を視野に入れているのか ・市立恵那病院が核となり、他の診療所をカバーする。病院へ行くのにも移動手段がない、開業医の多い地区はいいが、少ない地区は医師がどれだけいるのか。今後検討が必ず必要になる	
4	三郷振興事務所	三郷町三役会	6月14日	金曜日	10:00	三郷振興事務所	10	・市内ではなく広域で考えるべきでは →東濃の医療連携は岐阜県が東濃地域医療構想等調整会議の中で協議している	
5	武並振興事務所	自治区運営会議(武並町)	7月24日	水曜日	19:00	武並コミュニティセンター2階会議室	13		
6	笠置振興事務所	笠置地域協議会常任委員会	6月11日	火曜日	19:00	笠置コミュニティセンター2階会議室	9	・診療所等の統合を考えているのか。患者数の減少などにより色々考えなければならない ・笠置地区には医療はない ・市立恵那病院へ搬送された場合、必要な医療機関へ転送を行ってもらえるが、もっと多くの医療機関と関係性を持っていただきたい。 ・患者の希望などにより転送先を選択できると良い ・地域にいる定年後等の看護師の活用を考えてほしい(大規模災害等) ・市民が安心して利用出る市立恵那病院にしてほしい。 ・市民アンケートなどをとっていただきたい。スタッフなどの対応についてのアンケートも ・中野方に消防署の分署が出来たことにより、蛭川から救急車が来なくなった。時間がかかる。 ・今後この検討は必要になる。やっていかなければいけない。	
7	中野方振興事務所	中野方地域協議会運営委員会	6月27日	木曜日	19:30	中野方コミュニティセンター	19	・中野方では、数年前に消防署分遣所を設置。月曜日から金曜日の運営をする。中野方町、飯地町、笠置町の河合地区の方たちには安心と思いますが、町民の要望としては365日の運営を望んでいる。ビジョンの中でどう考えているのか。 →ビジョンの中では、医療施設側の救急を受ける側の検討をするが、このような意見があることは消防署へも情報共有し協議していく。 ・中野方には民間の医療機関が2件ある。そこの医療の強化として救急の対応ができないか。民間に対して援助はできないか。 →民間の医療機関に対し公的機関が何かを援助することは難しいが、医師会とは連携を図っているのでその部分で調整をしたいと思う。 ・医療人材のネットワークの構築とあるが具体的にどのような内容か →現在は、1つの診療所に1人の医師、1人の看護師等で運営しているが、複数の診療所に複数の医師や看護師等で運営を行う。休暇等で休む場合に助けられるような仕組みづくりをする。 ・この場で話す内容では無いが、恵那病院のスタッフが手薄だと耳に入っているが本当か →現在の体制を維持できるスタッフはいると認識している。 ・大学病院との連携はあるのか →救急医療ではDrヘリなど、高度な医療が必要な場合は連携をしている。 ・今の状況と何が変更されるか。 →医師の確保が困難な状況があり、一人の医師が全てを背負うのではなくお互いにカバーし合い地域医療を守っていく形を作っていく。 ・恵南の串原と上矢作はもう行っているのでは →合併以前から、上矢作病院がへき地拠点病院として町外への支援を行っていた。 ・中野方で医療を確っていると遠い話と感じる。	
8	飯地振興事務所	飯地自治区協議会	6月20日	木曜日	19:00	飯地コミュニティセンター	23	・飯地診療所はどうなるのか →既存の施設は減らさない方向 ・診療所間でカバーをするのか ・計画の年数のスパンはどのくらいか →10年を考えている	
9	岩村振興事務所	第3回岩村地域自治区運営協議会役員会	6月19日	水曜日	19:30	岩村コミュニティセンター2階会議室	20	・概要版の資料に令和6年5月に一部改訂となっている。何が改訂したか。 →本編には救急医療体制が記載されているため救急医療体制を追加した。	
10	山岡振興事務所	区長会	6月19日	水曜日	16:00	山岡振興事務所	17	・施設・設備の整備の時期は。 →令和10年度以降を考えている。 ・情報共有をしっかりと各地区へ行って欲しい。 ・廃止になった山岡歯科診療所の場所に歯科を誘致できないか。 →歯科診療所の後には、デイ、ショートを増床する大規模改修を令和6年度に実施する。(令和5年度の区長会で合意した) ・中学校が統合になれば日中に生徒が怪我をした場合の救急体制の強化をお願いしたい。	
11	明智振興事務所	自治連合会役員会	5月30日	木曜日	19:30	明智振興事務所	70	意見無し。	
12	串原振興事務所	第2回串原自治連合会会議	8月20日	火曜日	19:30	串原サンホール	未定		
13	上矢作振興事務所	上矢作地域自治区運営協議会	6月25日	火曜日	19:00	上矢作コミュニティセンター	25	・上矢作の住民を大事にしながら進めて頂きたい。人口も減っている少子高齢化も進展し、上矢作病院を頼りにしている。これを具体化するときには地域へ話をして頂きたい。方向性としてはやむを得ない。恵那病院は指定管理で市では自由にならない。市の中には公的病院が2つあるので市民としては安心できる。コロナ禍においても2つもあるので機能したと思う。規模云々でもやはり市には2つぐらいは必要ではないかと思う。 ・上地域医療等調整会議を踏まえた病床数を見直すダウンサイジングを視野にとあるがダウンサイジングとは。 →医療施設におけるダウンサイジングは、病院の規模を縮小することを指すが、地域医療ビジョンのダウンサイジングは、地域医療構想等調整会議で検討されている病床数で検討をする。施設設備の整備、将来の医療ニーズや患者数の動向、収支など経営状態を見据えた施設規模を検討する。公立病院の全般的にも規模や統廃合の傾向がある。今の上矢作病院の状況を教えて欲しい。 ・検討を何名かの専門家で進められると思いますが、その際に地域の声を聞くとか、地域の方が聞ける機会がありますか。 →地域に必要な情報は出す、話す機会をいただければ報告をする。 ・最低2回の地域での説明を住民説明会を開いて欲しい。 ・ダウンサイジングは病床数を減らすとありましたが、診療所にすることか →ビジョンの中のダウンサイジングは病床数を検討することになり、診療所にするのは計画策定委員会で検討をします 今後は診療所にすることはあるのか →今後の検討になります。 ・地域説明会では、病院の機能、救急はどうなる、病床はどうなる、診療科はどうなる、など具体的に簡単な内容しか一般の人は分からない。診察を受ける側の視点で診療所になったらどうなるかを分かりやすく説明をお願いしたい。そうすれば住民の方も意思表示がしやすくなる。基本的には私は診療所では困る。先生とかの問題で徐々に規模の縮小は拒めないが、政治的に一気に診療所へしてしまうのは心配している。 ・一番は患者数が一気に減少している。地域医療はそれだけでは無いことは大島先生から受け継いでいる。このビジョンは一方的に決定した内容ではない色々な意見等を受けて作成をされている。専門家が多く一般の我々が意見をなかなか言いにくい。	